

令和7年度子どもの読書活動優秀実践校に対する文部科学大臣表彰の被表彰校について

橋本市立隅田小学校

空き教室を活用して「第2図書館」を設置し、低学年向けの図書を中心に配架することで、学年に応じた読書機会の創出につなげている。読書冊数に応じてシールや読んだ本の名前を書いた葉っぱを貼って飾っていく「読書の木」は読書冊数の増加だけでなく、高学年児童による読み聞かせの機会につなげるなど、読書の楽しさを広げるための、自主的な取組の場として活用できている。また、「うちどく」に取り組むことで、家庭での読書の機会を提供し、児童や保護者の感想を共有することで読書推進に向けた保護者の意識向上につなげている。

岩出市立上岩出小学校

令和6年度のスクールプランの重点目標で「基礎学力の定着」を掲げており、その中で、「読書活動を通して自分の考えや生き方を深めたり、広げたりすることができるようにする」活動の推進に取り組んでいる。この取組は長年継続しており、近年の生活環境の変化やスマートフォンの普及により、手軽に情報を得られる一方で、読書率の低下が問題視されている中、時代に応じた工夫と改良を加えながら柔軟な姿勢で取り組み、「10分間読書」や「担任による読み聞かせ」、「新聞週間」や「ストーリーテリングとブックトーク」など、読書活動の推進と校内言語環境の整備を行っている。

和歌山県立新宮高等学校

図書館を「創造する学習」「考える学習」の場と捉え、図書館資料の活用・読書活動の活性化に取り組んでいる。長年継続している「朝の読書」、「読書感想文集」の作成のほか、探究学習のテーマ設定のヒントとなる展示を行うなど、学校生活の中で、自然と本と接する機会を設け、生徒の読書習慣を育てている。また、資料の検索方法のアドバイスや他の図書館からの取寄せ等の対応もしており、学校内において「学習・情報センター」としての役割を果たしている。さらに学校のホームページのトップページ上に蔵書検索の機能を設ける等、生徒が図書館にアクセスしやすい工夫をしている。

近畿大学附属和歌山高等学校

図書啓発通信『フォンからホンへ』配信や生徒が主体的に運営する校内ビブリオバトル大会など特色ある取組により、不読率の低減やこどもの読書活動の推進を行っている。また、校内ビブリオバトル大会で発表した本を地域の書店に展示していただくなど、ビブリオバトル大会を通じ地域等と連携することで、校内の生徒だけでなく、生徒の家族や友人、一般の方にまで本の魅力を広げる活動を行っている。

令和7年度子どもの読書活動優秀実践図書館・団体に対する
文部科学大臣表彰の被表彰図書館・団体について

図書館

美浜町立図書館

美浜町立図書館では、乳児期からの読書推進を図るため、令和5年から乳幼児検診時に読み聞かせと絵本のプレゼントを行うブックスタート事業を開始し、親子での来館者増につながった。

また、こども達がぬいぐるみと一緒におはなし会に参加した後、図書館でぬいぐるみを預かり、後日ぬいぐるみが読書する姿を撮影した写真とともに返却する「ぬいぐるみのおとまり会」を実施しているほか、ボランティアと連携したおはなし会や壁面装飾など、こどもが楽しく読書に向き合える環境づくりに尽力している。

団体

おはなしのひろば「コスモス」

おはなしのひろば「コスモス」は、こどもたちに絵本や紙芝居の楽しさを伝えることを目的に、平成17年度和歌山県立図書館ボランティア養成講座修了者の有志により結成された。県立図書館でおはなし会を18年間継続し、令和6年8月に200回を達成した。毎回季節にちなんだおはなし会の内容が伝わるように工夫したポスターを手作りしている。県立図書館外でも、幼稚園・保育所・小学校やイベントなどでの読み聞かせのほか、地域のフリーペーパー（生活情報紙）に絵本紹介記事を執筆するなど、幅広く活動してきた。